



試験分析レポート

国際認定ラクテーション・コンサルタント®(IBCLC®) 資格試験

2017年10月実施

対象者：
ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会®(IBLCE®)

作成者：
Lawrence J. Fabrey博士
心理測定学部門チーフ・サイコメトリシャン

Scott Frohn博士
アソシエート・サイコメトリシャン

2018年1月

著作権 © 2018.ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会®(IBLCE®)。独占所有権。無断複写・転載を禁じます。
本書のいかなる部分も、電子的または機械的な手段を問わず、IBLCEからの書面による許可なく、複写、記録、情報検索システムを含め、いかなる形式または手段でも複製または転載することはできません。

試験分析レポート ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会®(IBLCE®) 国際認定ラクテーション・コンサルタント®(IBCLC®)資格試験 2017年10月実施

概要

IBCLC資格試験の2017年10月の試験は、67カ国・地域の837カ所にて、以下の17か国語で実施されました。中国語、クロアチア語、デンマーク語、オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、インドネシア語、イタリア語、日本語、韓国語、ポーランド語、ポルトガル語、スロベニア語、スペイン語。2017年10月は合計3,917人が受験しました。受験者のうち、3,911人(99.8%)がコンピューターを使用した試験(CBT)を受け、6人(0.2%)が筆記試験を受けました。CBTと筆記試験のデータは統合され、本分析レポートの分析に使用されています。

試験の構造

IBCLC資格試験は、試験委員会メンバーと専門家委員会(RPE)とともに、評議会が2014年に完了した実践分析から得られた詳細な試験概要に基づいています。この調査に基づき、評議会は、試験分野および年代順に従って試験内容を取りまとめました。詳細な試験概要は、IBLCEのウェブサイト(www.iblce.org)に掲載されています。

試験は単一の総合試験として採点されます。ただし、試験項目の形式は2種類の複数選択方式となっています。文章と画像による複数選択方式です。画像は通常、母乳育児の様子、または乳房の解剖学的構造もしくは病理を描写する写真を表示し、受験者はそれを分析しなければなりません。これらの試験項目は、臨床的な関連性が特に高くなっています。試験を構成する175項目のうち、85項目が画像を参照するものとなっています。

2017年10月試験は、作業手順基準に従い、試験委員会が試験項目を作成、見直し、編集、選択のうえ試験が作成されました。委員会は、地理的および活動環境において広範囲にわたる各分野の専門家たちが含まれています。

全ての受験者の得点データ(n = 3,917)を用いて、試験後に予備的な項目分析が行われました。PSIの心理測定学スタッフは、試験委員会のメンバーとの予備的な項目分析の見直しを行い、問題の可能性のある項目(すなわち、わずかに不規則な統計や、受験者による不利な意見がある項目)の妥当性を確認しました。項目点数の適切な変更が、必要に応じて行われました。さらに、試験の様々な言語バージョンによる項目の成績の分析が行われ、問題の可能性のある項目を試験委員会および翻訳者が見直し、多様な言語の項目の同等性が確認されました。

試験点数

これらの統計値は、文字ベースと画像ベースの部分合わせたものに基づいて、初回受験者2,503人について計算されています。この統計は、2種類の試験ではなく、全体的な試験として表示されています。なぜなら、試験は1つの包括的で統合されたものとして作成されているからです。

初回受験者(2,503人)の素点の分布は、わずかに負の斜線となりました(図1参照)。初回受験者の175項目試験の点数の信頼性(KR20)は0.89、標準誤差(SEM)は4.93、合格点での条件付きSEMIは5.63¹であり、単一の実施判断の一貫性指標の推定は0.87²と0.91³でした。平均点数は138.20であり、標準偏差は14.69でした。

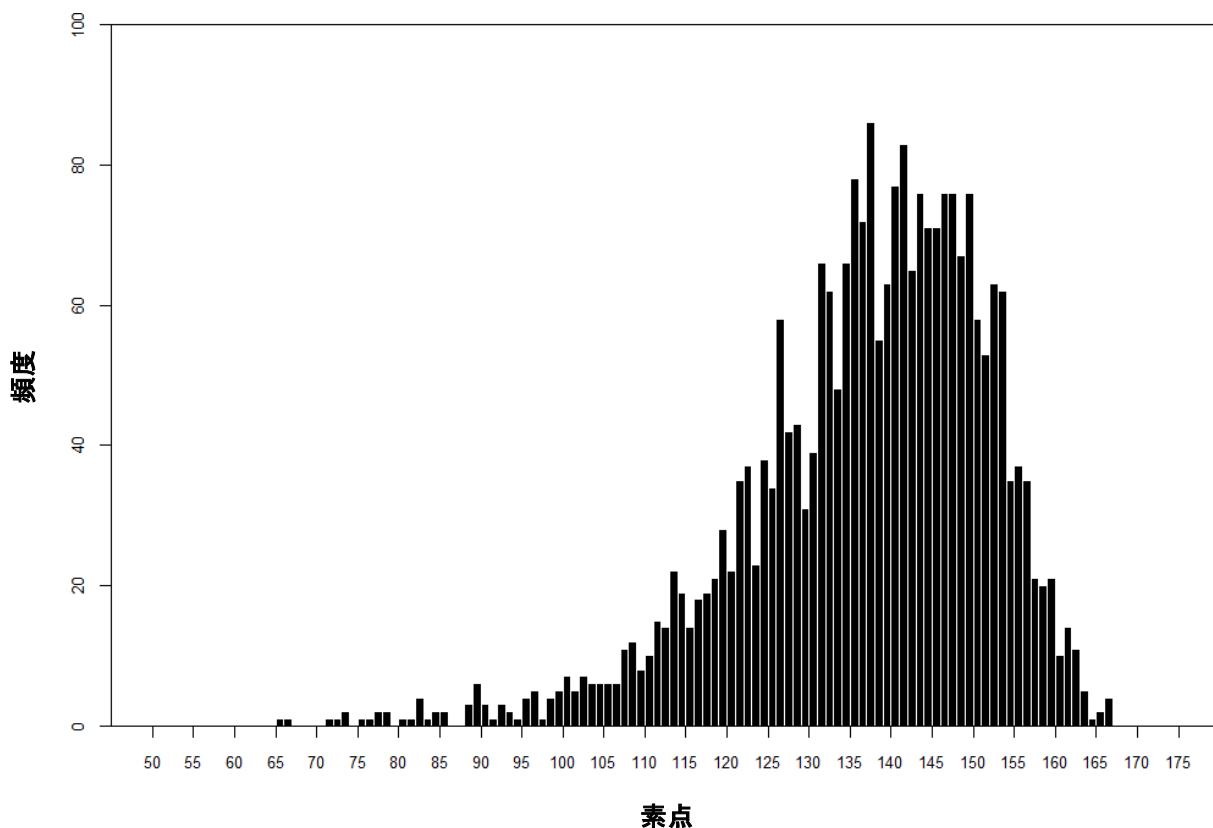


図1.初回受験者の素点分布

¹Lord, F. M. (1984). Standard errors of measurement at different ability levels.

Journal of Educational Measurement, 21(3), 239-243.

²Subkoviak, M. (1976). Estimating reliability from a single administration of a criterion-referenced test.

Journal of Educational Measurement, 13(4), 7-10.

³Livingston, S. A., & Lewis, C. (1995). Estimating the consistency and accuracy of classifications based on test scores.

Journal of Educational Measurement, 32, 179-197.

各試験分野の成績は表1に表示されています。受験者は、これら7つの主要試験分野の点数を受け取り、これらの点数をどのように解釈して、不合格の受験者は再度受験するか、合格した受験者は今後の専門的な成長にどう生かすかについて、ガイダンスを受けました。

表1.試験分野別受験者の成績概要(n = 3,917、合格% =73.81)

試験分野	項目数	平均
I. 成長と栄養	26	20.79
II.生理学と内分泌学	24	17.81
III.病理学	31	24.65
IV.薬理学と毒物学	13	9.39
V. 心理学、社会学、人類学	21	16.49
VI.技術	25	21.10
VII.臨床の技術	35	27.96
合計	175	138.20

試験結果

試験全体にわたる難易度の違いを調整し、IBLCEによって事前に確立された最低限の適用基準を維持するために、確立された統計処理を行い試験の等化を実施しました。項目の点数を示されているように調整した後、2017年10月試験は、試験作成段階で確認された45の等化項目を使用して、2016年10月試験と同等とされました。IBLCEは、2017年10月の試験の合格点の素点を131点(175点中)として、最終的に承認し、採用しました。

試験の最終結果は、表2および表3に示されており、認定状況および志願条件別に平均と合格/不合格をそれぞれ表示しています。

表2.認定状況別平均点と合格/不合格の概要

認定状況	N	平均	合格率(%)
初回	2,503	137.28	72.91
資格喪失者	110	140.71	82.73
5年目の再認定	84	142.58	85.71
10年目の再認定	508	145.35	90.16
15年目の再認定	66	147.80	95.45
20年目の再認定	168	149.83	96.43
25年目の再認定	11	152.27	100.00
30年目の再認定	16	153.31	100.00
再受験	451	127.19	42.79
合計	3,917	138.20	73.81

表3.志願条件別の平均点と合格/不合格の概要

志願条件	N	平均	合格率(%)
志願条件 1*	2,720	135.46	67.68
志願条件 2**	81	144.22	86.42
志願条件 3***	85	139.89	81.18

*志願条件 1:適切な環境での臨床時間を持つ保険医療専門家と非専門医療従事者

**志願条件 2:公認の学校/大学のプログラム

***志願条件 3:IBCLCのメンターシップによる臨床時間